

報道用

平成18年密輸動向

大阪税關
平成19年2月

連絡・問い合わせ先

調査部 特別審理官(第1担当)

TEL 06 6576 3124

FAX 06 6572 4560

大阪税関の摘発状況について

1. 平成18年の関税法違反摘発件数は195件であった。
2. 不正薬物の摘発件数は59件であった。
3. 覚せい剤の摘発件数、押収量が大幅に増加した。
4. 大量の錠剤型覚せい剤を摘発した。

平成18年の大阪税関における関税法違反摘発件数は195件(対前年比108%)であった。内訳は、密輸入事犯187件(同105%)、その他8件であった。

密輸入事犯については、航空機旅客、国際郵便及び航空貨物を利用した手口が太宗を占めた。また、告発件数は43件(同71%)であった。

(1) 不正薬物の摘発状況

平成18年の大阪税関における不正薬物の密輸入事犯の摘発件数は、59件(同87%)、押収量約80kg(同93%)であった。

(2) 不正薬物事犯の特徴

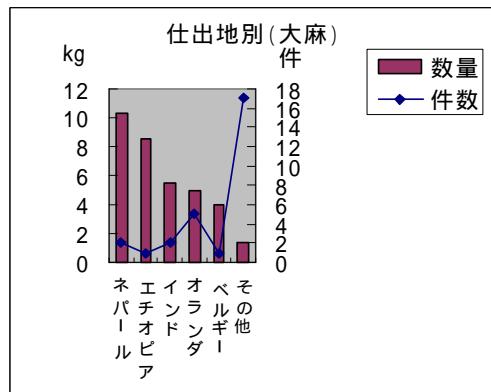
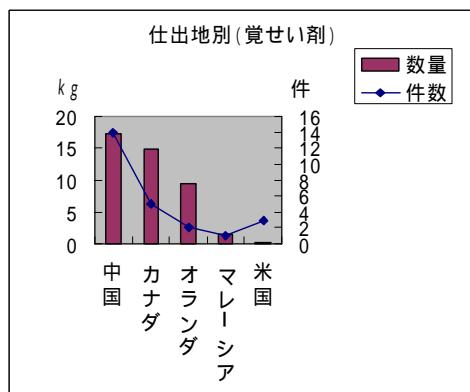
イ 不正薬物の押収量は覚せい剤が過半数を占め、摘発件数は25件(同192%)、押収量は約43kg(同239%)であり、平成元年以降、件数は最高を記録し、押収量としては3番目であった。9月から10月にかけオランダ王国からの航空機旅客による錠剤型覚せい剤合計約5万7千錠を摘発。12月には大阪港で、中国からの船舶旅客による覚せい剤合計約3kgを摘発し、さらに同月、カナダからの航空機旅客によるスツケース5個に隠匿された合計約15kgを摘発した。

ロ 大麻の摘発件数は28件(同68%)、押収量は約37kg(同55%)であった。

ハ M DMA等の摘発件数は4件(同57%)、押収量は1,064錠であった。

(表1、2参照)

二 覚せい剤・大麻の仕出地等



ホ 不正薬物の密輸手口について形態別でみると、国際郵便を利用したもの 11 件(同 34%)、入国旅客等による密輸入が 33 件(同 132%)、航空貨物を利用したもの 8 件(同 114%)で、国際郵便及び航空機を利用した入国旅客等によるものが太宗を占めている。

(全国)

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	構成比%	前年比%
国際郵便	255	151	137	36.2	90.7
入国旅客等	231	136	181	47.9	133.1
商業貨物	53	41	26	6.9	63.4
航空貨物	48	36	24	6.3	66.7
海上貨物	5	5	2	0.6	40.0
船員等	23	12	34	9.0	283.3
計	562	340	378	100.0	111.2

(大阪税関)

	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	構成比%	前年比%
国際郵便	65	32	11	18.6	34.4
入国旅客等	38	25	33	55.9	132.0
商業貨物	17	8	8	13.6	100.0
航空貨物	17	7	8	13.6	114.3
海上貨物	0	1	0	-	全減
船員等	3	3	7	11.9	233.3
計	123	68	59	100.0	86.8

(注) 船員等には、船舶旅客・別送品(船便)を含み、入国旅客等には、航空機乗組員・別送品(航空便)を含む。

(3) 不正薬物以外の摘発事例

イ けん銃等の摘発

4 月、米国から関西空港に到着した航空小口急送貨物に隠匿されたけん銃 1 丁及び銃用雷管 191 個を摘発した。

ロ 知的財産侵害物品の摘発

3 月、中国からの航空小口急送貨物に隠匿された商標権及び特許権を侵害する偽造バイアグラ約 1 万 5 千錠を摘発した。

表 3

全国税関における主な社会悪物品摘発一覧表
(過去5年間)

年 種類		14年	15年	16年	17年	18年	前年比
覚せい剤	件	20	76	103	33	82	248%
	kg	408	327	385	88	140	159%
大麻	件	276	355	314	243	195	80%
	kg	476	766	888	588	196	33%
大麻草	件	191	233	242	178	136	76%
	kg	261	436	597	385	130	34%
大麻樹脂	件	85	122	72	65	59	91%
	kg	215	330	291	203	66	32%
ヘロイン	件	15	9	3	3	3	100%
	kg	19	5	0	0	2	1806%
コカイン	件	12	11	19	5	12	240%
	kg	14	0	83	2	7	415%
あへん	件	3	2	6	3	6	200%
	kg	2	4	1	0	27	6669%
MDMA等	件	35	43	54	25	30	120%
	千錠	172	368	401	234	115	49%
向精神薬	件	89	58	63	28	50	179%
	千錠	60	16	27	15	27	184%
合計	件	450	554	562	340	378	111%
	kg	918	1,104	1,358	679	377	56%
	千錠	233	385	429	249	142	57%
参考(使用回数)	万回	1,884	1,597	2,015	606	629	104%

銃砲	件	8	9	4	2	4	200%
	丁	13	12	5	4	15	375%
銃砲部品	件	3	7	1	0	2	全増
	点	4	13	1	0	3	全増

- (注) 1. 数字は摘発ベースのものであり、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
2. 覚せい剤は、覚せい剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
3. MDMA等は、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。
4. 使用回数は、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算したものである。(覚せい剤: 0.03g、大麻草: 0.5g、大麻樹脂: 0.1g、ヘロイン: 0.01g、コカイン: 0.03g、あへん: 0.3g、MDMA及び向精神薬: 1錠)

表 1

大阪税関における主な社会悪物品摘発一覧表
(過去5年間)

年 種類		14年	15年	16年	17年	18年	前年比
覚せい剤	件	2	6	15	13	25	192%
	kg	0	0	23	18	43	239%
大麻	件	55	78	87	41	28	68%
	kg	49	94	155	67	37	55%
大麻草	件	36	44	63	32	16	50%
	kg	20	43	90	60	21	35%
大麻樹脂	件	19	34	24	9	12	133%
	kg	29	51	65	7	16	229%
ヘロイン	件	4	5	0	2	0	全減
	kg	2	2	0	0	0	-
コカイン	件	0	0	9	0	0	-
	kg	0	0	3	0	0	-
あへん	件	0	0	0	0	0	-
	kg	0	0	0	0	0	-
MDMA等	件	3	10	9	7	4	57%
	千錠	15	50	7	29	1	3%
向精神薬	件	11	13	3	5	2	40%
	千錠	3	3	1	5	2	40%
合計	件	75	112	123	68	59	87%
	kg	50	96	181	86	80	93%
	千錠	19	53	7	34	4	12%
参考(使用回数)	万回	52	84	170	84	164	195%

銃砲	件	0	0	3	0	2	全増
	丁	0	0	3	0	3	全増
銃砲部品	件	0	1	0	0	1	全増
	点	0	1	0	0	1	全増

- (注) 1. 数字は摘発ベースのものであり、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
 2. 覚せい剤は、覚せい剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
 3. MDMA等は、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。
 4. 使用回数は、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算したものである。(覚せい剤: 0.03g、大麻草: 0.5g、大麻樹脂: 0.1g、ヘロイン: 0.01g、コカイン: 0.03g、あへん: 0.3g、MDMA及び向精神薬: 1錠)

表 2

関西空港税関支署における主な社会悪物品摘発一覧表
(過去5年間)

年 種類		14年	15年	16年	17年	18年	前年比
覚せい剤	件	1	3	11	10	15	150%
	kg	0	0	10	18	32	178%
大麻	件	33	37	40	19	22	116%
	kg	38	86	131	33	36	109%
大麻草	件	21	19	28	13	13	100%
	Kg	19	36	67	26	21	81%
大麻樹脂	件	12	18	12	6	9	150%
	kg	19	50	65	7	16	229%
ヘロイン	件	4	4	0	0	0	-
	kg	2	2	0	0	0	-
コカイン	件	0	0	2	0	0	-
	kg	0	0	1	0	0	-
あへん	件	0	0	0	0	0	-
	kg	0	0	0	0	0	-
MDMA等	件	3	4	1	3	3	100%
	千錠	15	50	0	29	0	0%
向精神薬	件	1	2	1	0	2	全増
	千錠	0	0	0	0	2	全増
合計	件	42	50	55	32	42	131%
	kg	40	88	143	51	68	133%
	千錠	16	50	0	29	2	7%
参考(使用回数)	万回	42	81	116	75	126	168%

銃砲	件	0	0	3	0	1	全増
	丁	0	0	3	0	1	全増
銃砲部品	件	0	1	0	0	0	-
	点	0	1	0	0	0	-

- (注) 1. 数字は摘発ベースのものであり、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
 2. 覚せい剤は、覚せい剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
 3. MDMA等は、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。
 4. 使用回数は、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算したものである。(覚せい剤: 0.03g、大麻草: 0.5g、大麻樹脂: 0.1g、ヘロイン: 0.01g、コカイン: 0.03g、あへん: 0.3g、MDMA及び向精神薬: 1錠)

平成18年大阪税関の主な摘発事例

1. 航空機旅客

(1) 覚せい剤

【電気座布団の中に隠匿して密輸しようとした覚せい剤を摘発】

3月、中国から到着した韓国人男性が携行していた布製袋内「電気座布団」の中に隠匿された覚せい剤約800gを摘発。



【携行バッグ内に隠匿して密輸しようとした錠剤型覚せい剤を摘発】

9月、オランダから到着した英国人男性が携行していたソフトキャリーバッグ内のリュックサックに隠匿された錠剤型覚せい剤約3万1千錠を摘発。



【携行バッグ内に隠匿して密輸しようとした錠剤型覚せい剤を摘発】

10月、オランダから到着したポーランド人女性が携行していたボストンバッグ内に隠匿された錠剤型覚せい剤約2万5千錠を摘発。



(2) 大麻草

【スーツケースを二重工作して隠匿し密輸しようとした大麻草を摘発】

6月、オランダからベルギー及びドイツを経由して到着した英国人男性が携行していたスーツケースに隠匿された大麻草約5kgを摘発。



(3) 大麻樹脂

【靴底等に隠匿して密輸しようとした大麻樹脂を摘発】

8月、ネパールから到着した日本人男性が着用していた靴底内、及び携行リュックサック内に収納されていた靴底内、並びに体内に隠匿された大麻樹脂約1.4kgを摘発。



(4) 向精神薬

【ボストンバッグ内に隠匿して密輸しようとした向精神薬を摘発】

3月、ウズベキスタンから到着した日本人男性から向精神薬（製品名ハルシオン）約2,400錠を摘発。



2. 国際郵便

覚せい剤

【菓子用プラスチック容器内に隠匿して密輸しようとした覚せい剤を摘発】

4月、中国から到着した国際スピード郵便物内の菓子用プラスチック容器の中に隠匿された覚せい剤約100gを摘発。



3. 商業貨物

(1) 覚せい剤

【インスタントラーメン内に隠匿して密輸しようとした覚せい剤を摘発】

3月、中国から到着した航空小口急送貨物内の「袋入りインスタントラーメン」の中に隠匿された覚せい剤約1kgを摘発。



(2) けん銃等

【航空小口急送貨物内に隠匿して密輸しようとしたけん銃等を摘発】

4月、アメリカから到着した航空小口急送貨物内に隠匿して密輸しようとしたけん銃1丁、銃用雷管191個を摘発。



(3) 知的財産侵害物品

【航空小口急送貨物内に隠匿して密輸しようとした偽造バイアグラを摘発】

3月、中国から到着した航空小口急送貨物に隠匿された偽造バイアグラ約1万5千錠を摘発。

